

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

地域IT人材確保支援事業

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和5年度決算額：3,399千円

令和5年度の取り組み

市内IT企業の認知度を高め、人材確保を支援することを目的に、学生・若者等に対してオンラインにより、「IT業界啓発イベント」及び「IT業界合同企業説明会」を開催した。

・IT業界啓発イベント

オンラインイベント 同時最高視聴者数 40名

オフラインイベント 参加者数 17名

・IT業界合同企業説明会 参加企業数 30社

参加者数 61名



IT業界啓発イベント



IT業界合同企業説明会

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

IT産業関連展示会出展支援

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

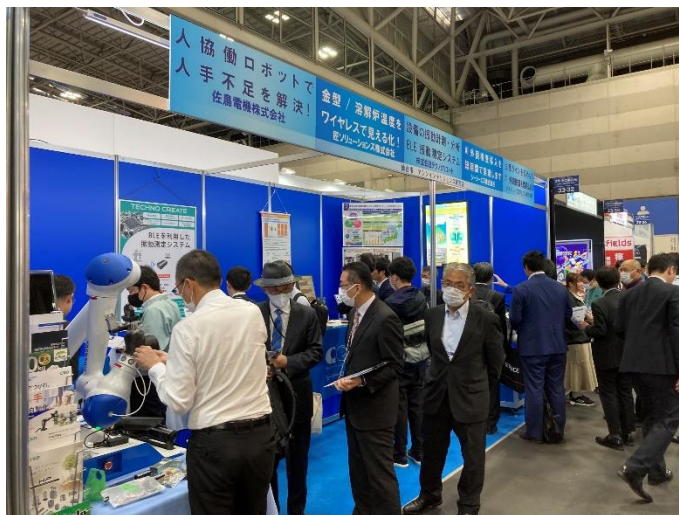
令和5年度決算額：2,090千円

令和5年度の取り組み

仙台・東北をフィールドに開発したITソリューションの販路開拓を支援するため、東北大学IIS研究センターやマシンインテリジェンス研究会等の関連団体とともに先端IT技術関連展示会への出展支援を行った。

地元のゲーム・モバイルアプリ開発企業の販路開拓を支援するため、ゲーム関連展示会への出展支援を行った。

- ・各種展示会への出展支援件数 2件



IT産業関連展示会



ゲーム産業関連展示会

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

IT産業振興に係る情報発信事業

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和5年度決算額：3,546千円

令和5年度の取り組み

IT産業に関わる(又は興味をもつ)市域内外の人々の交流等のつながり創出・強化により、本市におけるIT産業の更なる活性化及びIT人材の地元定着・UIターン促進を図るため、Webサイト「SENDAI INC.」を使った情報発信を行った。

SENDAI INC.にて、地域で活動するITコミュニティやそれに関わる人、地域で活躍するIT企業に関連する様々な情報を掲載すること等により、本市がIT産業に関わる人々にとって魅力的な都市であることを発信した。



webサイト「SENDAI INC.」

・掲載コンテンツ数 6件



IT産業において、自らの産業に目を向けていく必要があります。仙台的時間の流れは東京などと比べて、少しゆっくりなので、短期的な取り組みやスピード感が求められる産業よりも、BOSAI-TECHのように長期的な視点での研究や事業開発に邁進していると思います。仙台に合った産業を育てていけると良いですね。

本や企業と少しずつ接点ができきて、仙台にも拠点を構えるですね。では拠点を構える上で、enspaceを選んだ理由を教えてください。



aceは仙台のビジネスコミュニティでは最も大きく、出会いの場。当時enspaceに入居していた企業からロコデザインの発注を依頼しビジネス機会も増えました。その後、仙台市とイベントをA (Tohoku Growth Accelerator) のメンバーに選んでいただいたり企業と出会うことができました。

「Accelerator」についてはこちらの記事もご覧ください。『仙 HOKU GROWTH Acceleratorの卒業生はいま』



掲載コンテンツの一部抜粋

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

IT活用推進事業・IT人材研修

仙台市産業振興事業団 IT活用推進課（産業振興課）

（連絡先：022-724-1125）

令和5年度決算額：13,246千円

令和5年度の取り組み

国家戦略特区に認定されている「仙台テレワークサポートデスク」を通じて、テレワーク導入の支援を行った。

IT活用による地域の中小企業者のデジタル化を推進し、新たな市場の開発や生産性向上などによる経営力強化に向けて、専門家による伴走支援やセミナー等を実施した。

地域企業を対象としたデジタルツールやテレワークの体験機会を提供するデジタル化体験イベントを開催し、展示会や講演等を実施した。

地域中小IT企業が抱える人材育成と技術者不足の課題に対応するため、一般社団法人宮城県情報サービス産業協会（MISA）と連携し、新人～若手～中堅の階層別技術者教育体系によるIT技術者のスキルアップを図った。

- ・テレワークサポートデスク相談件数367件
- ・セミナー・イベント参加者数 延べ178名
利用者満足度 平均86.5%
- ・IT人材研修参加者数 延べ285名



仙台テレワークサポートデスク



IT導入補助金活用フェア

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

スタートアップ・エコシステム拠点都市推進

スタートアップ支援課
(連絡先：022-214-8768)
令和5年度決算額：4,265千円

令和5年度の取り組み

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会のホームページ内にスタートアップのインタビューの掲載や、支援者によるイベントやプログラムに関する支援施策一覧情報を発信し、仙台・東北のスタートアップに関する情報発信の活性化を図った。

また、仙台・東北のスタートアップ・エコシステムをさらに発展すべく、域外のスタートアップ支援有識者を招聘した勉強会を複数回開催し、支援の現状や今後のKPI策定に関する議論を行った。

INTERVIEW インタビュー



仙台・東北から世界への飛躍を目指すスタートアップや、仙台・東北から社会的・経済的インパクトをもたらす、世界へ挑戦するスタートアップをらみ出していくことを目指してスタートアップを支援する様々な変革機関や企業などスタートアップ・エコシステムに関わる皆さんの思いに寄り添います。

スタートアップインタビュー



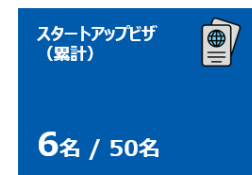
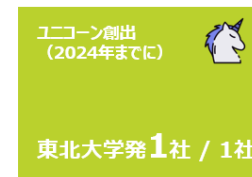
会員向け勉強会

【活動実績】

- ・協議会会員内連絡会議 4回
(担当者間事務連絡会議、施策検討委員会、総会)
- ・協議会員内勉強会 6回

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会 拠点形成計画KPI達成状況

拠点形成計画に掲げるKPIの達成状況について（2020年7月～2024年3月累計）



(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

スタートアップスタジオ構築

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8768)

令和5年度決算額：32,931千円

令和5年度の取り組み

令和6年3月14日にスタートアップのためのワンストップ支援拠点である仙台スタートアップスタジオを開業した。

本拠点開設までの期間にスタートアップ相談体制の構築、スタートアップに対するハンズオン（伴走）支援の実施、セミナー、マッチング、交流会等のイベント開催を実施し、仙台スタートアップスタジオ開設に向けた拠点の周知とスタートアップに対する包括的な支援体制の構築、支援者との連携強化、仙台・東北のスタートアップ関係者のコミュニティの醸成を図った。

- ・相談窓口対応件数 103件（対面・オンライン）
- ・外国人創業・起業活動促進事業（スタートアップビザ）相談者数 14者
- ・スタートアップに対するハンズオン支援の実施 6者
- ・セミナーや交流会等イベントの開催 9回
- ・イベント参加者数 1,525名
（開業イベント：997名／開業イベント外：528名）



仙台スタートアップスタジオ開業イベント



相談窓口（対面）の様子

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

研究開発型スタートアップ育成

スタートアップ支援課
(連絡先：022-214-8768)
令和5年度決算額：19,100千円

令和5年度の取り組み

東北に所在するミドルステージを中心とした研究開発型スタートアップが抱える数々の課題に対して、ヒアリングをもとに、個社ごとのニーズに応じた柔軟な支援を提供した。

【具体的な支援内容】

- ・ 資金調達支援
- ・ 海外展開支援
- ・ 営業戦略立案支援
- ・ 新規事業創出支援
- ・ ECサイト作成支援
- ・ 広報媒体作成支援

採択社数：4社

プログラム期間中の資金調達金額：25億円



(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

東北大学連携型起業家育成

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8278)

令和5年度決算額：4,261千円

令和5年度の取り組み

東北大学の研究シーズ活用企業の創出・成長を支援し、雇用拡大・地域経済活性化を図ることを目的に、東北大学連携型起業家育成施設（T-Biz）の運営支援と、入居企業に対する賃料補助を実施した。

また、連携する支援機関による説明会の開催や、入居企業の支援ニーズの把握のため、年2回支援機関の関係者との面談を実施し、各支援機関の有する支援メニューの紹介や活用に向けた支援を行った。

- ・補助金交付件数 10件



東北大学連携ビジネスインキュベータ（T-Biz）

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

首都圏スタートアップ支援拠点開設

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8768)

令和5年度決算額：13,421千円

令和5年度の取り組み

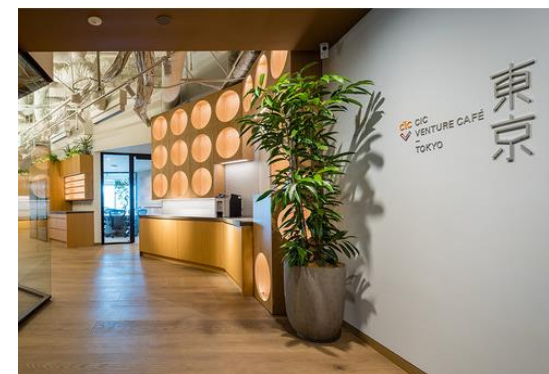
令和5年度より、東京・虎ノ門ヒルズビジネスタワー内にある日本最大級のイノベーションセンター「CIC Tokyo（ケンブリッジ・イノベーション・センター東京）」内に本市の首都圏スタートアップ支援拠点を開設した。

本拠点にて開催されるイベントへの参加や、イベントの主催、入居企業とのネットワーク等を通じて、本市のスタートアップ・エコシステムの発展や、スタートアップの成長に繋がるような人的ネットワーク創出に繋げることができた。

- ・イベント開催（主催）4回
- ・イベント登壇 4回
- ・イベント参加者数 合計 500名超



R5.6.15 SGSC告知イベント



CIC Tokyo

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

首都圏人材マッチングイベント開催

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8768)

令和5年度決算額：11,637千円

令和5年度の取り組み

首都圏に在住するスタートアップのCxO候補となる人材やVC等の支援者を対象に、本市のスタートアップ支援の情報発信や、起業家や起業家を志す者との交流機会をつくることを目的としたマッチングイベントを首都圏で計4回実施した。

1回目～3回目のイベントでは、各回3～4者の起業家が登壇。登壇者の事業領域に合わせたCxO候補人材とVCのみを招待する完全招待制でイベントを企画し、効果的なマッチングに繋げることができた。なお、CxO人材獲得やVCからの資金調達を目標とする起業家を「CxO候補人材獲得&資金調達伴走プログラム」として採択し、イベント前後のフォローにより具体的なマッチングに繋げた。

4回目のイベントは本市が新たに拠点を設けたCIC Tokyoにて「TOHOKU STARTUP NIGHT2024」と題して開催し、オンラインを合わせて340名が参加した。

【完全招待制 マッチングイベント】

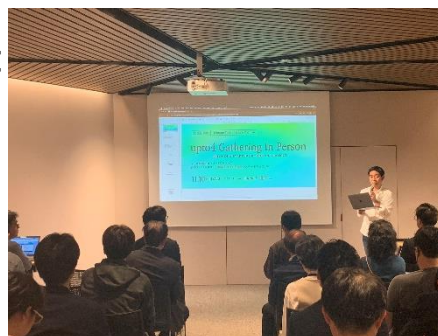
- ・1回目（創薬・医療分野領域）参加者：41名
- ・2回目（Climate Tech領域）参加者：42名
- ・3回目（環境・農業・バイオ領域）参加者：41名

【CxO候補人材獲得&資金調達伴走プログラム】

- ・応募件数 11者 うち採択件数 5者
- ・CxO候補人材マッチング件数 10件
- ・VCマッチング件数 10件

【TOHOKU STARTUP NIGHT2024 @CIC Tokyo】

- ・現地参加者：217名・オンライン参加者：123名



完全招待制マッチングイベント



TOHOKU STARTUP NIGHT

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

ソーシャルイノベーター育成・支援

スタートアップ支援課
(連絡先：022-214-8278)
令和5年度決算額：19,721千円

令和5年度の取り組み

社会課題解決に取り組むゲストを招いたトークイベントや「デザイン思考ワークショップ」等の各種ワークショップを実施した。

また、社会起業家育成プログラム「東北ソーシャル・インパクトアクセラレーター」を実施し、社会起業家に対して約半年間の集中支援を行った。地方最大級の起業家応援イベント「SENDAI for Startups!」で成果発表の場を提供し、ビジネスマッチングや認知度の向上につなげた。

- ・プログラム 採択人数 11名
- ・イベント 参加者数 491人
- ・首都圏関係人口創出
プロジェクト参加者数 (20人)
講師・メンター参加者数 (28人)
京都・東京イベント参加者数 (96人)



デザイン思考ワークショップ



成果発表会

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

課題解決型ICTプロダクト等実証支援

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8278)

令和5年度決算額：7,500千円

令和5年度の取り組み

「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成につながる大学の研究成果やICTを活用した課題解決事業アイデアをブラッシュアップすることで、実用化に向けた様々な支援を行う集中支援プログラム「SENDAI NEW PUBLIC」を実施した。

大学研究者3名を採択し、起業に向けた事業アイデアのブラッシュアップや企業とのマッチング支援、実証実験に向けた調整等を実施した。起業前の採択者については研究成果等を活用したビジネスモデルの構築ができ、起業準備段階へ進展した。起業済みの採択者については、事業展開にあたっての課題の洗い出しやターゲットの再検討を行い、仮説検証のための顧客ヒアリングを実施した。

- ・応募件数 6件
- ・採択者数 3件



SENDAI NEW PUBLIC ホームページ

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

起業支援センター事業

仙台市産業振興事業団 起業支援課 (スタートアップ支援課)

(連絡先：022-214-8278)

令和5年度決算額：36,762千円

令和5年度の取り組み

起業予定者に対して、窓口やオンラインでの専門家による様々な助言（起業準備、資金調達、販促、事業計画、企業形態、経理等）を行うとともに、各分野の専門家を一堂に集めた合同相談会(オフライン・オンラインを併用)や、起業に必要な知識・ノウハウを起業家の課題・段階に応じて説明する各種セミナーを定期的で開催することで、起業活動の促進を図り、開業後の状況把握・経営課題解決に向けたフォローアップを行った。

令和3年6月に国家戦略特区を活用して開設した「仙台市開業ワンストップセンター」にて、専門家による開業手続き相談、オンライン申請支援を実施した。

- ・ 開業前相談件数 1,608件
- ・ 開業後相談件数 579件
- ・ セミナー開催回数
（オフラインセミナー 12コース）
（オンラインセミナー 11コース）
- ・ 開業支援件数 129件
- ・ 開業ワンストップセンター法人設立支援件数 47件



オンライン起業相談イメージ



開業ワンストップセンター

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

起業啓発・促進イベント開催

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8278)

令和5年度決算額：4,900千円

令和5年度の取り組み

起業に対する理解・関心を高め、起業を啓発・促進するとともに、本市へのUIターン起業や東北の起業家に対する支援・投資を呼び込むきっかけを創出するため、全国で活躍する著名な起業家による基調講演や、東北で活躍する起業家のプレゼンテーションなどを行う地方最大級の起業家応援イベント「SENDAI for Startups!」を開催した。

本イベントは、東北でチャレンジする人を応援する「TGA Festival」、「TOHOKU SOCIAL INNOVATION SUMMIT」、「DA-TE APPS!」の3つのイベントで構成し、オンラインとオフラインのハイブリッド型で3日間開催し、ビジネスマッチングやネットワークの拡大につながる機会を提供した。

- ・ 来場者数 539名
- ・ オンライン視聴者数 878名



(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

小中高生アントレプレナーシップ醸成

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8768)

令和5年度決算額：2,664千円

令和5年度の取り組み

次世代の起業人材を育成することにより、起業のすそ野の拡大を図るため、小中高生向けに起業体験ワークショップ等を実施した。

小学生、及び中学生向けには、グループ単位で仮想の会社を設立し、商品企画から事業計画の作成、資金調達、商品制作、販売、決算までの一連の流れを1日で体験するワークショップを開催した。

高校生向けには、起業家からのレクチャーを受けながらビジネスプランを作成し、成果発表のプレゼンテーション等を行う内容のデザイン思考を活用した社会課題探究ゼミを3日間に亘り実施した。

これらのワークショップ等を通して起業家精神（チャレンジ精神、創造性）や起業家的資質・能力（判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力など）の醸成につながった。

- ・参加者数（小学生） 64名
- ・参加者数（中学生） 19名
- ・参加者数（高校生） 14名



売上と利益の分析の様子



資金調達の様子

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

グローバルスタートアップキャンパス

スタートアップ支援課

(連絡先：022-214-8768)

令和5年度決算額：14,205千円

令和5年度の取り組み

SENDAI Global Startup Campus (SGSC)

300名が応募、110名を選抜



Stage.01

アントレプレナーシッププログラム

世界最大・最先端のオンライン教育プラットフォームCourseraとMoU締結
110名に欧米の最先端のアントレプレナーシップ関連の人気コースを提供

coursera

110名から20名を選抜



Stage.02

リーダーシッププログラム

20名がハーバード・ビジネススクールの人気オンラインプログラム受講
HBS元教授竹内弘高氏による特別セッションも開催



**Harvard
Business
School**

Stage2の20名を派遣



Stage.03

ボストン・シリコンバレー派遣

20名を米国ボストン、シリコンバレーに派遣し、ハーバード大学、スタンフォード大学、MITメディアラボなど、イノベーション拠点を訪問



**Harvard
Business
School**



(5) 次世代放射光施設立地を最大限に生かす「光イノベーション都市・仙台」

次世代放射光施設関連産業振興

企業立地課

(連絡先：022-214-3154)

令和5年度決算額：21,091千円

令和5年度の取り組み

● NanoTerasuシェアリング2000

3GeV高輝度放射光施設NanoTerasu（ナノテラス）の産業利用促進のため、本市が保有するナノテラスの2000時間分の利用枠を地元企業や本市への進出企業等に活用いただく「NanoTerasuシェアリング2000」制度を開始した。

● トライアルユース事業

SPring-8（兵庫県）等の既放射光施設を活用して多種多様な事例を創出し、その事例をもとに普及啓発を行うことで、ナノテラス稼働後の積極的な利用に繋げる「トライアルユース事業」を実施した。

令和5年度事業 採択件数 10件（応募件数 12件）

NanoTerasuシェアリング2000

2000時間枠でイノベーションが楽しくわくわくする未来へ！

「ナノテラス」には
・ナノ(10億分の1m)単位を観測できる世界最先端の分析施設。
・東北大学青葉山新キャンパス内に整備され令和6年度に本格稼働予定。

仙台市はナノテラスを利用できる権利を年間2,000時間(10年間)取得しました。
ナノテラスを活用してイノベーションを創出しましょう！！

対象者 国内に本社、工場、研究開発拠点のいずれかがある法人

利用時間 年間最大24時間～80時間 ※要審査

利用料金 39,900円(税込)/時間あたり ※一部消耗品費含む

こんな方におすすめ！
・自社の課題解決に行き詰っている。
・自社製品の魅力を科学的根拠を持って伝えたい。 など

こんなことに使える！
・半導体ウエハーの表面研磨をナノレベルで評価する！
・種を乾燥させながら測定し、最適な乾燥条件を探る！

利用の流れ

事前相談 → 申請 → 測定準備 → 予約 → 測定 → 分析・解析 → 報告

まずはヒアリングシートで仙台市へ事前相談を！
記載できる範囲で構いません！
ヒアリングシートはこちら

対象者と利用時間

東北・新潟の企業	東北・新潟以外の企業	仙台市へ進出企業(コアリジョン※加入済)	仙台市へ進出企業(コアリジョン※未加入)
48h	24h	80h	40h

過去の放射光測定事例はこちら
「最新事例一覧」をチェック！

NanoTerasuシェアリング2000の詳細はこちら

お気軽に仙台市へご相談ください！
仙台市 経済局 企業立地課
TEL:022-214-3154
E-mail:kei008040.13@city.sendai.jp



SPring-8での測定の様子

● ナノテラス関連のセミナー開催

ナノテラスの認知度向上・利用促進を目的として、オンラインセミナーを開催した。

セミナー視聴者：131名

アーカイブ動画総視聴回数：1,677回

(現在もYouTubeでアーカイブ配信中)

(6) ダイバーシティ経営と人材確保

仙台「四方よし」企業制度

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7338)

令和5年度決算額：4,339千円

令和5年度の取り組み

健全な経営の下で「社会的課題解決」及び「魅力的な職場環境づくり」に向けた取り組みを実施している市内中小企業を『仙台「四方よし」宣言企業』として通年で募集した。

また、『仙台「四方よし」宣言企業』が行う地域社会の発展及び市民生活の向上に寄与する優れた取り組みを発信することで、その取り組みを後押しするとともに、地域経済の活性化と中小企業の持続的な発展を図った。

【新規宣言企業】

2社（累計33社）



仙台「四方よし」企業大賞

Sendai "Shihoyoshi" Corporate Award



仙台「四方よし」宣言企業

Sendai "Shihoyoshi" Corporate Award

【新規宣言企業の取り組み】

①株式会社ナラティブ

外国人が働きやすい環境を整えるため、個々の生活スタイルに合わせた柔軟な勤務体系を取り入れ、きめ細やかな生活支援を行っている。

②伸和興業株式会社

社屋に太陽光パネルや蓄電池、貯水池、非常用食料・トイレ等を設置し、地域住民が避難所として利用できるようにしている。また、健康経営を推進し、魅力的な職場環境づくりに取り組んでいる。



(6) ダイバーシティ経営と人材確保

就職氷河期世代就職支援事業

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和5年度決算額：14,994千円

令和5年度の取り組み

就職氷河期世代（40歳前後～50歳代半ば）の方で、主に非正規雇用の方などを対象とし、個別コンサル支援やスキルアップ研修、企業見学セミナーや氷河期世代の方の正規雇用に向き企業とのマッチングイベント等の開催により、求職者の就職支援および地元企業の人材確保を図った。

- ・就職決定者数 51名
(うち正規雇用22名、非正規雇用29名)
- ・事業登録者数 114名
- ・求人企業数 97社
- ・研修等によるスキル向上支援事業参加者 145名
- ・「宮城・仙台ジョブフェア」※宮城県と共催
9月：参加企業数42社 参加者数125名
1月：参加企業数50社 参加者数151名



- 👍 求職者&求人企業
マッチングイベント
- 👍 就職セミナー
- 👍 適職診断で
満足度の高い仕事探し
- 👍 企業見学ツアー
- 👍 ここだけの話
就職座談会
- 👍 一人ひとりに合わせた
就労コンサル

30代～50代*の 正社員就職 & キャリアアップを 支援します



仙台市では、雇用環境が厳しい時期に
就職活動を行った方たちの、就職・転職や
正社員就労の実現を目指して、
ニーズに合わせた支援を実施しています。
※20代の支援も行いますので、お気軽にお問い合わせください

仙台市就職氷河期世代就労支援事業

PSC キャリアアップ仙台

【事業運営：一般社団法人パーソナルサポートセンター】



(6) ダイバーシティ経営と人材確保

仙台で働きたい！プロジェクト

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和5年度決算額：14,199千円

令和5年度の取り組み

『就活お役立ちポータルサイト 仙台で働きたい!』を運営し、1,300社以上の企業情報やイベント情報、地元就職の魅力伝えるための、仙台市の都市情報や地元企業で働く若手社員のインタビュー記事等を発信するとともに、保護者向けページを新設した。

また、就職活動に臨む学生が「地元企業を知り、地元就職を考える」機会となるイベントを様々な内容で開催した。

● ポータルサイト運営



就活お役立ちポータルサイト

仙台で働きたい! <https://sendaidehatarakitai.jp/>

● BEST JOB事業

マッチングイベント「センダイシゴト博」

開催回数	計2回
参加企業数	55社
参加者数	189名



少人数イベント「センダイシゴト大学」

開催回数	計8回
参加企業数	計29社
参加者数	計124名



就業体験「みやぎの就業体験プログラム」

開催日数	5日間
成果報告会	2回
参加企業数	21社
参加者数	43人



(6) ダイバーシティ経営と人材確保

学生と企業の交流の機会づくり

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和5年度決算額：500千円

令和5年度の取り組み

学生が地元企業経営者や若手社員から直接話を聞き、意見交換する場を設け、職業選択について考えるとともに、「地元で働く意義」「地元中小企業の魅力」を伝える機会を創出し、併せて企業側の意識改革や人材確保等に繋がる取り組みを行った。

● 仙台で働こう2024

～魅力溢れる地元企業との交流会～ (YEGとの共催)

参加企業数 80社

参加学生数 50名



交流会の様子



- 大学のキャリア授業を活用した交流事業
宮城大学、山形大学、東北工業大学等で講義を行った。
- 仙台商業高等学校キャリアセミナー
参加企業数 16社
参加生徒数 約300名



仙台商業高等学校キャリアセミナーの様子

(6) ダイバーシティ経営と人材確保

奨学金返還支援事業

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和5年度決算額：38,880千円

令和5年度の取り組み

地元中小企業に就職した若者の奨学金の返還を3年間補助（最大18万円/年×3年間→最大54万円）することにより、地元就職へのきっかけづくりや地元企業の人材定着を図った。

令和6年3月に新卒者（既卒3年以内含む）として協力企業に正規雇用で就職する学生を対象に募集を行い、定員140名に対し99名を支援対象者として認定した。

・認定支援対象者数 99名（令和6年3月卒業者）

（参考）令和2年3月卒業者 65名認定
令和3年3月卒業者 115名認定
令和4年3月卒業者 120名認定
令和5年3月卒業者 115名認定

・認定協力企業数 188社（令和6年3月末）

【支援対象者】

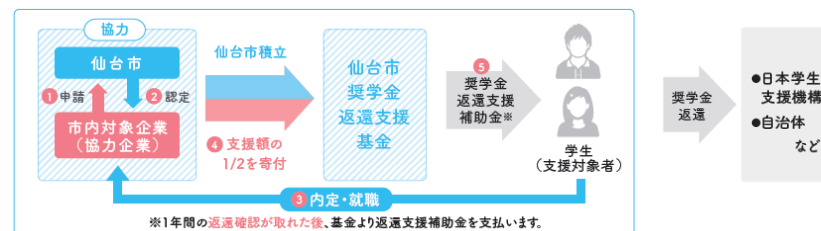
新卒者として対象企業に正規雇用で就職する者（大学、大学院、短大、高専、専修学校専門課程の者。既卒3年以内含む）

【支援の条件】

協力企業に就職し、奨学金の返還を行っていること

【対象企業】

- ・市内に本社を置く中小企業、社会福祉法人、医療法人、NPO法人等
- ・市外本社の場合は、市内に事業所があり、そこで働く者を採用する中小企業、社会福祉法人、医療法人、NPO法人等



(6) ダイバーシティ経営と人材確保

高校生向けフィールドスタディ（職業体験）

商業・人材支援課

（連絡先：022-214-1007）

令和5年度決算額：4,359千円

令和5年度の取り組み

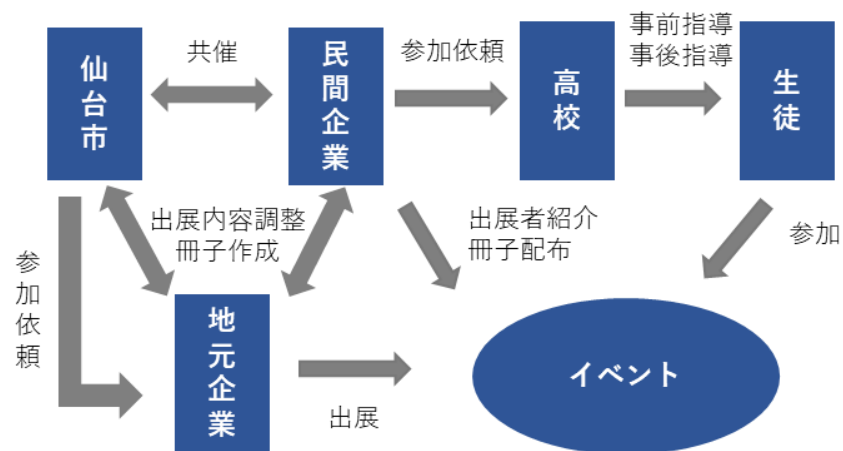
今後の地域経済を担う高校生を対象に、地元産業・企業の魅力や社会的意義を知ってもらい、将来の地元就職やUターンにつなげることを目的として、様々な業界の地元企業の仕事を体験できる職業体験イベントを開催した。

生徒には事前に出展企業の「紹介冊子」を配付し、参加企業のPRを行ったほか、仙台市の産業や都市の特徴についても情報を提供した。

・職業体験イベント「未来ビュー仙台」

来場生徒数 2,297名

出展企業・団体数 17社



職業体験ブースの様子ほか

(6) ダイバーシティ経営と人材確保

合同企業説明会

商業・人材支援課

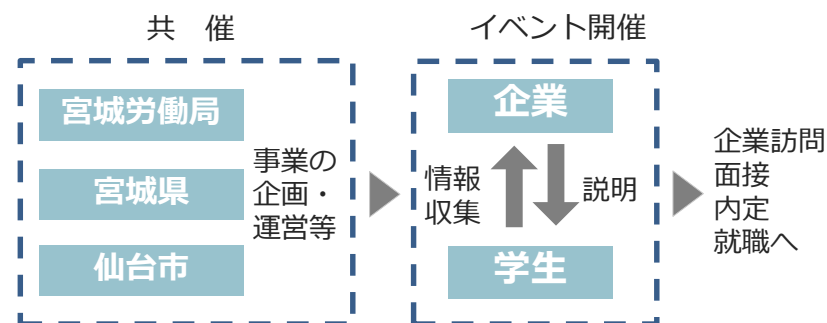
(連絡先：022-214-1007)

令和5年度決算額：1,614千円

令和5年度の取り組み

地域産業の担い手となる人材の確保及び定着を促進するため、宮城県及び宮城労働局と合同で、新規卒業予定者（高校生、大学生）等を対象とした合同企業説明会や就職面接会等を開催した。

- 「高校生のための合同企業説明会」
参加企業数 111社 参加生徒数 898名
- 「新規高等学校卒業予定者就職面接会」
参加企業数 84社 参加生徒数 72名
- 「みやぎ合同就職面接会」
参加企業数 58社 参加生徒数 100名
- 「みやぎ就職ガイダンス」
参加企業数 82社 参加学生数 160名



合同企業説明会の様子

(6) ダイバーシティ経営と人材確保

UIJターン就職促進事業 移住支援金

商業・人材支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和5年度決算額：104,355千円

令和5年度の取り組み

● UIJターン就職促進事業

東北の各自治体と連携し、令和6年3月卒業予定の大学生等を主な対象として、東北の地元企業が参加する就活イベントをオンラインで開催した。また、首都圏の大学生を対象に、宮城・仙台への関心度向上やUIJターン就職の促進を図る観点から、地元企業と交流しながら販促企画の提案を行うワークショップを開催するなどの取り組みを行った。

● 仙山連携UIJターンイベント

「八重洲deせんだい&やまがたNIGHT 2023」

参加者数 20名



● 「山形/仙台/東北ワークフェス (WEB企業・業界研究会)」

参加自治体：仙台市、山形市、青森市、弘前市、八戸市、
秋田市、福島市、盛岡市、郡山市、いわき市

参加企業数 30社、参加学生数 52名



● 「地域活性化実践型 首都圏大学合同ワークショップ」

協力企業数 2社

参加学生数 21名



● 移住支援金

東京圏からの移住者のうち、テレワーカーや地元の対象企業に就職した方などを対象に、移住支援金を交付した。

・交付件数 73件、交付合計金額 102,600千円

(6) ダイバーシティ経営と人材確保

雇用支援事業

仙台市産業振興事業団 組織活性推進課（商業・人材支援課）

（連絡先：022-748-6877）

令和5年度決算額：6,115千円

令和5年度の取り組み

企業の採用力強化などの取り組みを支援することで、地元企業が抱える人材の採用・定着といった課題の解決に加え、多様な人材が中小企業で活躍する社会づくりを促進した。

学生・求職者に選ばれる企業づくりを支援するため、採用コンサルティングとセミナーを実施した。また、個人（学生・求職者・在職者）のキャリア支援のため、無料職業紹介及びキャリア・コンサルティングを実施した。

- ・採用コンサルティング
利用企業数 49社（延べ102回）
- ・採用セミナー
開催回数 8回、参加者数 323名
- ・無料職業紹介件数 188件
- ・キャリア・コンサルティング
実施回数 50回、参加者数 301名

- solutions -

こんなお悩みにお応えします



採用ホームページの作成



企業パンフレットの製作



企業説明会や面接のノウハウ



キャリア・コンサルティングの様子

(6) ダイバーシティ経営と人材確保

多様な人材活躍推進事業

仙台市産業振興事業団 組織活性推進課（商業・人材支援課）

（連絡先：022-748-6877）

令和5年度決算額：5,163千円

令和5年度の取り組み

台湾、タイの合同企業説明会への参加や連携大学との交流会の開催を通じて、高度外国人人材と地元企業とのマッチングを図るとともに、大学生等に対する海外留学や海外インターンシップの支援により、仙台エリアにて就職または起業するグローバルな視点を持った人材の育成を図った。

- 台湾、タイの大学等との交流イベント・企業説明会
開催回数 15回、参加者数 735名（右表参照）
- グローバル人材育成支援（海外留学奨学金）
支援者数 2名



海外留学奨学金募集チラシ

催事名	参加者数
義守大学オンライン交流会	65
JOB博台湾	135
国立台湾海洋大学オンライン交流会	20
義守大学オンライン学内企業説明会	40
国立台北芸術大学オンライン交流会	40
ラチャモンコン工科大学オンライン模擬面接	90
バンコク日本博ジョブフェア	28
東呉大学オンラインインターン説明会	15
中原大学オンライン交流会	10
国立台湾海洋大学企業説明会	50
致理科技大学合同企業説明会	20
東呉大学合同企業説明会	60
東呉大学企業講演会	100
中原大学合同企業説明会	40
タイ現地人材会社によるマッチング	22



オンライン交流会実施の様子

(7) 仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり

企業立地促進

企業立地課

(連絡先：022-214-8245)

令和5年度決算額：443,697千円

令和5年度の取り組み

首都圏を中心とした企業に直接訪問したほか、オンラインミーティングなどの手法を活用し、本市の立地環境や各種支援施策のPRを行った。

ビジネス誌において、本市が重点とする「企業の本社機能誘致」をテーマに、市長のインタビューや実際に本市へ本社機能に移転した企業代表者へのインタビュー記事を掲出し、本市の立地環境の優位性を広くPRした。

また、企業立地促進助成制度等を活用し、本市への企業立地を促進した。

- ・ 訪問件数 177社（オンラインミーティング含む）
- ・ 立地件数 24件



進出企業による立地表明式

ビジネス誌への掲出による立地環境等のPR

(7) 仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり

仙台港周辺地区復興支援

企業立地課

(連絡先：022-214-8245)

令和5年度決算額：3,632千円

令和5年度の取り組み

仙台蒲生産業団地への産業集積を図るため、平成28年度より実施してきた市有地利活用事業者募集について、最終1画地の事業候補者を決定し、契約手続き等を円滑に行った。

また、市有地の一部をコンテナシャーシ置き場に整備し、高砂コンテナターミナルのサブヤードとして、コンテナ運送事業者等への貸し付けを実施した。

震災前の水準以上に回復した仙台港区のコンテナ取扱量のさらなる増加を目指し、官民一体となった枠組みによって各種事業を行った。

- ・市有地利活用事業者募集による決定数 1件



蒲生北部地区航空写真（令和3年8月撮影）



蒲生北部地区市有地事業者決定状況等（令和6年3月現在）

(8) その他産業振興に係る事業

中小企業者金融支援事業（復旧復興）

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1003)

令和5年度決算額：2,292千円

令和5年度の取り組み

東日本大震災からの復旧・復興に向けて、東日本大震災で被災した中小企業者が、本市融資制度及び商工会議所等が指導・推薦する小規模事業者経営改善資金震災対応特枠を利用した場合、その利子及び保証料について補給することで、地元中小企業の早期復旧と事業再建を支援した

● 本市融資制度利子及び保証料補給

下記条件により、被災事業者に対して利子及び保証料補給を行った（申請・交付は年2回）

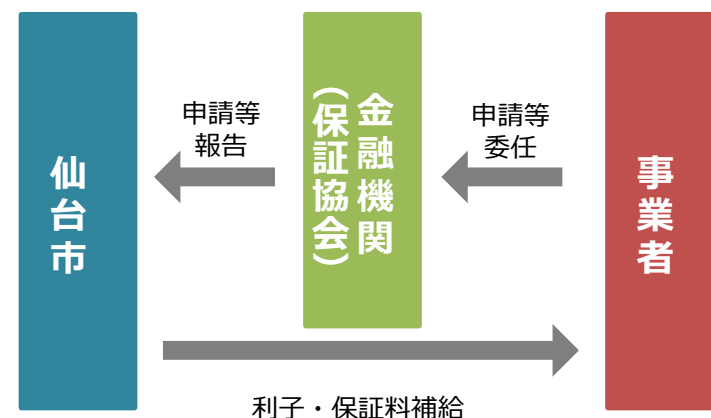
- ・ 補給対象となる融資限度額 3,000万円
- ・ 補給対象期間 3年
- ・ 利子保証料補給実績 45件、2,267千円

● 小規模事業者経営改善資金利子補給

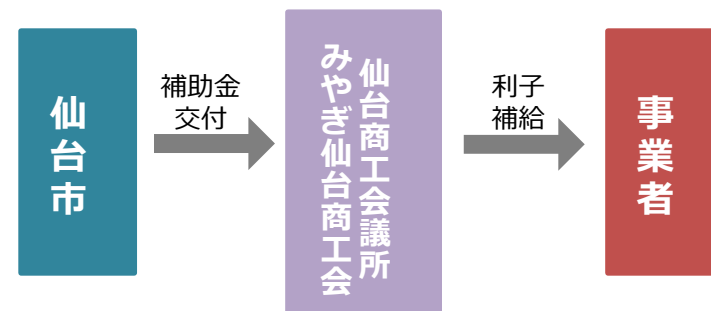
仙台商工会議所及びみやぎ仙台商工会が実施する日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金震災対応特枠（災害マル経）の融資を受けた者が支払った利子を補給する事業に対し、当該補給額相当分を補助金として交付した。

- ・ 利子補給実績 4件、25千円

【本市融資制度】



【小規模事業者経営改善資金(災害マル経)】



4.農林業の持続的発展

- (1) 経営体の確保・育成
- (2) 生産基盤の強化
- (3) 魅力ある地域の形成
- (4) 収益性の向上と所得の確保
- (5) 森林の持つ多面的機能の発揮・維持

(1) 経営体の確保・育成

拠点施設活用 (せんだい農業園芸センター)

農業振興課・農林企画課

(連絡先：022-214-8266、8265、8334)

令和5年度決算額：378,630千円

令和5年度の取り組み

民間活力の導入により再整備されたせんだい農業園芸センターについて、施設の管理・運営や研修事業など関連事業への補助等を通じて、農業者等の人材育成及び市民が農と触れ合える拠点施設としての活用を進めた。

● 収益性の高い農業推進支援拠点

農業経営や農産物の栽培方法をはじめとした各種研修事業、ICT活用の先進技術を取り入れた施設園芸の視察受け入れ等により、農業者及び農業に関心のある方への技術習得や農業経営に関する支援を行ったほか、観光果樹園整備を実施した。

● 農と触れ合う交流拠点

四季折々の花や草木を楽しめる花壇や広場などの整備を行うとともに、農や自然に親しむことを目的とした様々なイベントを実施した。また「農との交流需要基礎調査」を実施し今後の役割や機能等の検証及び新たに海浜エリア内の各種施設と連携した取組等の可能性について調査・検討を行った。

・年間入場者数 306,278名

● 施設の長寿命化

令和5年度は管理研修棟大規模改修工事とチェックインゲート棟・外構の大規模改修工事設計を行った。

せんだい農業園芸センター全体図

「収益性の高い農業推進支援拠点」



「農と触れ合う交流拠点」

(1) 経営体の確保・育成

農業担い手総合支援 (1/3)

農業振興課

(連絡先：022-214-7327)

令和5年度決算額：36,971千円

令和5年度の取り組み

● 担い手の育成・支援

農業経営に意欲的に取り組む農業者等を認定農業者として認定・育成するとともに、新規就農者、集落営農組織など、多様な担い手に対して支援を行った。

- ・ 経営発展支援事業採択件数 2件
- ・ 経営開始資金、農業次世代人材投資資金交付人数 6名
- ・ 新規就農小規模農業機械助成事業採択件数 3件
- ・ せんだい次世代スマート農業・生産技術ゼミ 修了者数 10名
- ・ 農林漁業振興資金利子補給支給件数 10件



せんだい次世代スマート農業・生産技術ゼミ
現地視察の様子

● 次世代アグリヒロイン活躍支援事業

女性農業者が活躍する経営体の育成を目標とし、次世代の女性農業者の掘り起こしを行うとともに、女性農業者を対象とした視察研修会を実施した。

- ・ 視察研修会開催回数 1回



花巻市の女性農業者との
交流の様子



(1) 経営体の確保・育成

農業振興課

(連絡先：022-214-7327)

農業担い手総合支援 (2/3)

令和5年度の取り組み

● 農地利用効率化等支援事業

地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿等の実現に向けて、生産の効率化に取り組む認定農業者等に対し、農業用機械等の導入支援を行った。

- ・ 農地利用効率化等支援事業交付金 交付額
16,093千円 (5件)



事業で導入した機械類

● 経営継承・発展支援事業

地域を牽引してきた中心経営体等から経営を継承した後継者が、自らの農業経営を発展させるための取り組みに係る経費に対して支援を行った。

- ・ 経営継承・発展支援事業 交付額
1,000千円 (1件)



事業で導入した機械

(1) 経営体の確保・育成

農業振興課

農業担い手総合支援 (3/3)

(連絡先：022-214-7327)

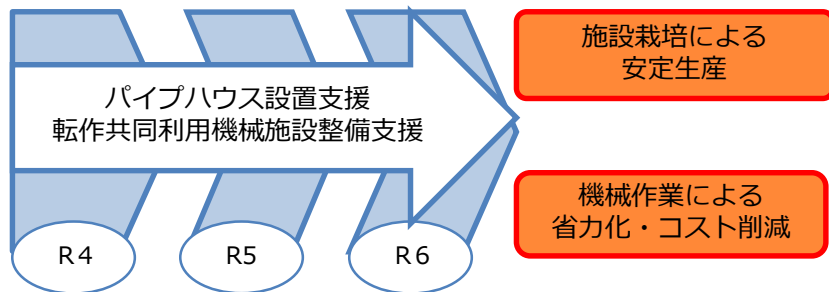
令和5年度の取り組み

● 施設園芸推進 (パイプハウス設置等) 事業

農業所得の向上と生産の安定に向け、パイプハウス設置等に対する支援を行った。

- ・施設園芸推進事業補助金交付額 320千円 (1件)

【事業計画】



補助金で整備したパイプハウス

● 転作共同利用機械施設整備事業

需要に対応した生産に継続的に取り組むとともに、生産性の高い水田営農を確立し、稲以外の作物の作付けを図るため、生産に必要な機械及び施設を整備する費用の補助を行った。

- ・転作共同利用機械施設整備事業補助金交付額

4,257千円 (1件)



補助金で導入したコンバイン

(2) 生産基盤の強化

農業用施設管理

農業土木課
(連絡先：022-214-8268、7328)
令和5年度決算額：158,603千円
令和4年度繰越額：28,099千円

令和5年度の取り組み

● 農業用施設の維持管理

農業の生産性向上と災害に強い農村環境の確保に向け、農業用施設の修繕や土砂浚渫・除草等の管理を行った。

(1) 農業用施設の修繕



排水機場ポンプ



水路修繕

(2) 農業用施設浚渫

- ・土地改良区・水利組合への補助金交付
- ・農業用水路、防災重点ため池の浚渫（浸水対策事業）



水路土砂堆積状況



水路土砂浚渫後

(3) 農業用施設除草・清掃



水路除草前



水路除草後

● 維持管理財源の確保

大沼太陽光発電所および朴沢小水力発電所による売電収入により、施設の維持管理に必要なコストの低減を図った。

- ・電力売払代金 27,134千円



大沼太陽光発電所



朴沢小水力発電所

(2) 生産基盤の強化

農業用施設整備

農業土木課
(連絡先：022-214-8268、7328)
令和5年度決算額：210,145千円
令和4年度繰越額：105,588千円

令和5年度の取り組み

● 農業用施設の整備・補修・長寿命化対策

農業の生産性向上と災害に強い農村環境の確保に向け、用排水路やため池等の整備・改修・安全対策を実施した。

(1) 幹線水路改修 12件



根白石大堰水路改修



薄ヶ沢水路法面对策

(2) 農業用用水路整備 6件



新川早坂水路改修



野村水路改修

(3) 農道整備 4件



四郎丸農道舗装整備

(4) ため池整備 5件



ため池安全柵設置

(2) 生産基盤の強化

農業用施設調査・計画策定

農業土木課

(連絡先：022-214-8268、7328)

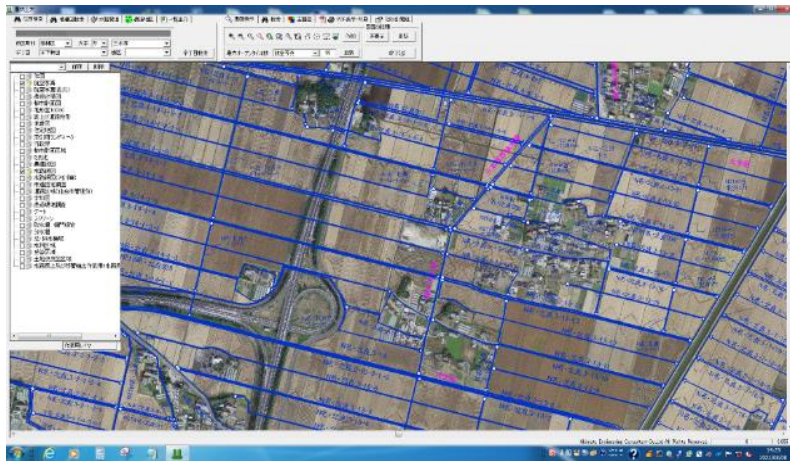
令和5年度決算額：7,152千円

令和4年度繰越額：19,106千円

令和5年度の取り組み

- 農業用財産管理システムデータ更新

ほ場整備事業及び開発行為等の完了に伴い、整備後の農業用施設データの更新を行い、施設の適切な維持管理を図った。



システムデータ

- 防災重点ため池監視システム運用保守

災害の発生時にため池の状況を速やかに把握するため、防災重点ため池に監視システム（水位計、定点カメラ）を整備し、運用を開始した。（50箇所設置済）



整備した監視システム

(2) 生産基盤の強化

土地改良事業

農業土木課

(連絡先：022-214-8268、7328)

令和5年度決算額：45,120千円

令和5年度の取り組み

● 農業基盤及び管理体制整備事業

西部地区で農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用したほ場整備（農業生産基盤整備）を推進した。

大倉日向地区（17.1 ha）：換地業務

倉内・大針地区（37.0 ha）：大区画化工事

秋保野尻地区（約14 ha）：調査・設計

（地区面積）

<倉内・大針地区（倉内5工区）>



着手前



完成

● 土地改良区の自主事業への支援等

（1）小規模土地改良事業

土地改良区が自ら行う施設の更新や土水路等の整備に対して一部支援することにより、土地改良区及び農家負担の軽減を図った。

（2）土地改良区組織強化

土地改良区の経営などの強化を図り、営農者同士が水利施設などの適正な維持・管理を通して、生産性や地域コミュニティ等の確保を図った。



小規模土地改良事業



土地改良区組織強化

(3) 魅力ある地域の形成

多面的機能維持

農林企画課

(連絡先：022-214-8334)

令和5年度決算額：138,061千円

令和5年度の取り組み

● 中山間地域等直接支払交付金

農地の中でも傾斜地が多く、平坦地より負担の多い中山間地における農業生産活動の維持や耕作放棄地の発生防止等を目的として、草刈り等の共同活動を支援した。

- ・ 活動組織数 11組織
- ・ 対象面積 186ha



交付金を活用して保全された農地

● 多面的機能支払交付金

土砂災害の防止や生態系保全といった農地の持つ多面的機能の発揮により、農業生産活動の維持や耕作放棄地の発生防止等を目的として、草刈り等の共同活動を支援した。

- ・ 活動組織数 52組織
- ・ 対象面積 323ha



交付金を活用した共同作業の様子

(3) 魅力ある地域の形成

有害鳥獣対策

農業振興課

(連絡先：022-214-8335)

令和5年度決算額：57,014千円

令和5年度の取り組み

野生鳥獣による農作物等への被害対策として、防護柵の設置支援と併せて捕獲体制の充実を図った。

- 防護柵の設置等に関する取り組み
 - ・ 防護柵設置補助件数 41件 17.3km
 - ・ ワイヤメッシュ柵の維持管理支援団体数 5団体



防護柵の設置状況

- 捕獲等に関する取り組み
 - ・ イノシシ捕獲頭数 935頭
 - ・ 仙台市鳥獣被害対策実施隊隊員数 79名
 - ・ 地域ぐるみの捕獲対策実施地区数 42地区 585名
 - ・ 箱わな導入数 12基
 - ・ くくりわな導入数 50基
 - ・ 狩猟免許取得のための講習会料助成件数 5件



地域ぐるみの捕獲対策従事者に対する説明会

(4) 収益性の向上と所得の確保

農食ビジネス推進

農業振興課

(連絡先：022-214-8266)

令和5年度決算額：30,912千円

令和5年度の取り組み

● 地産地消機会創出のための情報発信

ホームページやSNSを活用し、地産地消に関する情報発信を強化した。



とれたて仙台ホームページ

● 学校給食向け環境保全米生産補助

市内の学校給食へ提供する環境保全米を確保するために、市内農業者による環境保全米の生産を支援した。

- ・ 学校給食向け環境保全米生産補助金交付額

2,517千円

● 6次産業化等チャレンジ支援事業

市内農業者の6次産業化に向けた取り組みに対し専門家等による指導の支援を行った。

- ・ 新商品開発件数 4件

● 農食ビジネスモデル構築事業

鮮度が落ちやすい枝豆を朝に収穫し、独自の流通ルートによってその日のうちに飲食店や量販店に届け、消費者に提供する「今朝採り枝豆」等の付加価値の高い農産物に係るビジネスモデルの構築を進めた。

- ・ 今朝採り枝豆取扱店舗数 85店舗
- ・ 今朝採りとうもろこし取扱店舗数 6店舗
- ・ 仙台井土ねぎ取扱店舗数 13店舗
- ・ 西洋野菜取扱い店舗数 4店舗



(4) 収益性の向上と所得の確保

高付加価値農業推進

農業振興課・農林企画課

(連絡先：022-214-8335、8334)

令和5年度決算額：3,526千円

令和5年度の取り組み

● 安全・良質な農産物生産推進

地域循環型農業推進のため、たい肥の供給が可能な畜産農家の紹介リーフレットを作成し、農業者等に配布した。

- ・地域循環型農業推進リーフレット 8,300部

地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献する環境に優しい農業の取り組みの推進を行った。

- ・環境保全型直接支払交付金交付額 657千円 (2件)

● 野菜生産農家経営安定事業

野菜農家が安心して生産できるよう、価格変動による経営への影響を緩和する取り組みを行った。

● サステナブル農業推進事業

化学肥料削減による生産コスト低減と環境負荷低減の活動を進めるため、緑肥栽培のモデル実証ほを設置した。

- ・実証ほ設置数 3件

● 畜産農家への支援事業 (和牛増頭推進事業)

優良で高品質な和牛産出を実現するため、和牛受精卵の移植技術等に要する経費に補助金を交付した。

- ・和牛増頭推進事業補助金交付額

905千円 (12件)



牛飼養の様子

(4) 収益性の向上と所得の確保

農業振興課

水田フル活用推進

(連絡先：022-214-8335、7327)

令和5年度決算額：27,599千円

令和5年度の取り組み

● 経営所得安定対策

需給動向を踏まえた米の計画的な生産を推進し、麦・大豆などを主体とした集団転作体系の定着・拡大を図った。また、稲作と転作を組み合わせた収益性の高い水田農業の確立に向けた取り組みを行った。

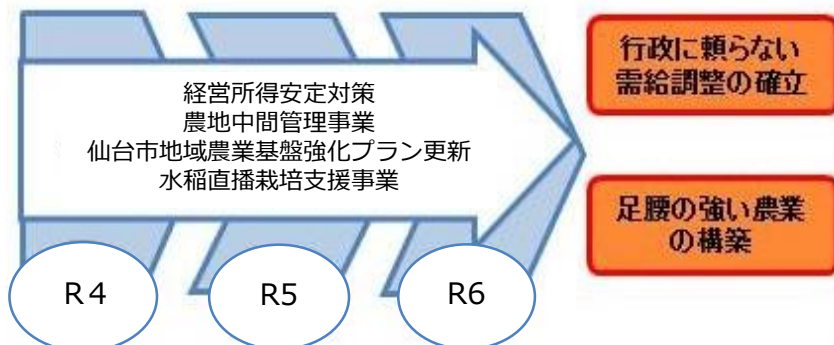
● 農地中間管理事業等

農地の貸付を希望する土地所有者から農地中間管理機構が農地を借り受け、地域の担い手に貸し付けることで、農地の有効な利用および担い手の経営の効率化を支援した。

- ・ 農地中間管理事業による契約面積

223.5ha (1,196筆)

【事業計画】



● 仙台市地域農業基盤整備強化プラン等

地域ごとに、今後地域の農業を中心的に担う個別経営体、法人経営体、集落営農組織等の育成や、農地集積等の取り組みに関する、地域農業の将来像を定めるプランの見直しを行った。

また、令和7年3月までに策定が必要な当該プランの後継プランとなる地域計画策定に向けて座談会を行った。

- ・ 令和5年度プラン見直し取り組み地区数 6地区
- ・ 令和5年度地域計画策定に向けての取組地区数 11地区

● 水稲直播栽培支援事業等

直播栽培の促進を図るため、当該栽培に取り組む地域の担い手等に対して、経費の一部補助を行った。

- ・ 大規模水稲直播栽培団地育成事業補助金交付額
684千円 (4件)
- ・ 水稲直播栽培支援事業補助金の交付額
306千円 (12件)

(5) 森林の持つ多面的機能の発揮・維持

森林管理

農林企画課
(連絡先：022-214-8264)

令和5年度決算額：28,781千円

令和5年度の取り組み

● 市有林管理事業

市有林の経済的価値の向上や、水源涵養、土砂災害防止等の多面的機能の発揮を図るため、市有林において、仙台市森林経営計画に基づき計画的に除間伐等を実施した。



市有林の間伐

● 除間伐の実績

壁山市有林（利府町） 16.30ha

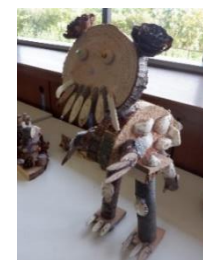
※搬出間伐

● みんなの森づくり事業

市民の森林・林業への意識高揚及び生産者との交流の強化を図るため、各種林業関連イベントを実施した。

・ イベント参加者数

- | | | |
|---------------|---------|-----|
| (1) 下刈りボランティア | ・ 6月実施 | 38名 |
| (2) 市民育樹祭 | ・ 10月実施 | 55名 |
| (3) 夏休み親子木工教室 | ・ 7月実施 | 76名 |



イベントの様子

(5) 森林の持つ多面的機能の発揮・維持

林業振興

農林企画課

(連絡先：022-214-8264)

令和5年度決算額：42,926千円

令和4年度繰越額：12,254千円

令和5年度の取り組み

● 民有林振興事業

林業事業者が行う森林施業等の事業費に対し補助を行った。

- ・スギ花粉発生源対策事業 600千円 (間伐16.0ha)
- ・山の幸振興総合対策事業 255千円

森林ボランティアを担う人材を養成する目的で、希望する市民を対象に講座を開催した。

- ・森林アドバイザー養成講座参加者数 16名

● 森林病虫害等防除事業

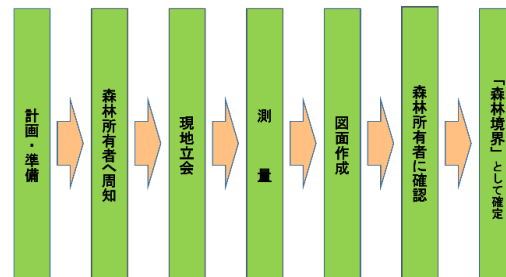
森林病虫害等被害木伐倒駆除 (249本) を実施し、蔓延する松くいやナラ枯れ被害を減少させることにより、被害の拡大防止を図った。



森林病虫害等被害木伐倒駆除の様子

● 森林経営管理制度の運用 (境界明確化業務)

森林経営管理制度に基づく森林経営管理集積計画策定地の森林境界について、対象森林所有者及び隣接地森林所有者の合意形成を図った。



● 木材利用促進支援事業

県産材を使用した新築住宅へ補助金を交付し木材の利用促進を支援した。

- ・補助件数 115件



県産材を使用した住宅

(5) 森林の持つ多面的機能の発揮・維持

林業基盤整備

農林企画課

(連絡先：022-214-8264)

令和5年度決算額：42,926千円

令和4年度繰越額：11,820千円

令和5年度の取り組み

● 林道維持管理

(1) 林道巡視調査

市内の林道の定期的な巡視調査を行い異常箇所を早期発見に努めた。

(2) 林道小修繕

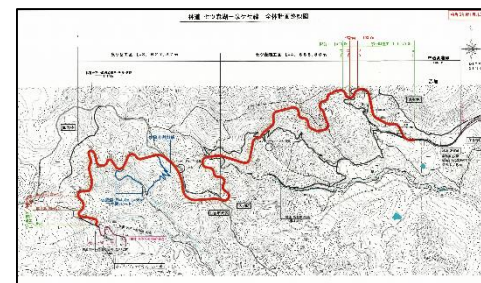
林道巡視調査により発見した異常箇所の修繕や大雨等による路面洗掘等の修繕を行った。

(3) 除草・除雪

生活道路機能を確保するため除草及び除雪を行った。

● セツ森湖～泉ヶ岳線林道開設事業

仙台市泉ヶ岳地区から大和町吉田地区を結ぶ林道の開設について、事業主体となる宮城県に対し、事業実施に伴う負担金を支出した。



● 林道整備

森林経営管理制度による施業予定森林に接続する林道末坂線（青葉区）および林道苦桃線（泉区）の路面改修を行った。



林道除草



林道除雪



末坂線 整備前



末坂線 整備後

5.仙台中央卸売市場

- (1) 管理課
- (2) 業務課
- (3) 花き市場
- (4) 食肉市場

令和5年度の取り組み

(1) 管理課

老朽化した中央卸売市場本場を現地建替で再整備を行うため、令和5年度は、本場の現状や課題を整理し、再整備に必要な基本的な方向性を定め、今後の再整備の検討に向けた大枠や方針を示すものとして基本構想を策定した。



中央卸売市場本場

(2) 業務課

安心・安全な生鮮食料品を安定的に供給し続けることができるよう、取引に関する指導・監督を適正に実施した。



取引量が正しいか、せり中に不正が無いかを監視する様子

令和5年度の取り組み

(3) 花き市場

切り花1世帯あたりの購入額(家計調査年報による)は、平成9年をピークに右肩下がりで推移していることから、花きの需要拡大を目指して各種の取り組みを実施した。

- ・夏休み親子花き市場見学会
- ・母の日に向けた花のPR活動
- ・父の日に向けた花のPR活動
- ・地元テレビ局との連携による花の商品券提供など



市場流通の仕組みについて説明



せり場の体験



フラワーアレンジメント教室

(4) 食肉市場

食肉の安全・安心及び安定供給に向けて、基幹設備の改修や、豚集荷拡大対策等を実施した。

- ・高架軌条設備改修、旧と畜場棟一部解体及び耐震補強改修設備切り回し、トロリー増設工事等の実施
- ・HACCP（と畜場・加工場）に基づく衛生管理の実施
- ・開設記念共進会等のイベント開催



共進会の様子